科目名	1	社会社	温礼	止 <i>σ</i> .	原理と	:政策	П								
科目名(英)															
単位数		2単位	立		時間数	ζ	30時間		担当者		伊東	 臭輔			
実施年度		2022	年度		実施時	期	後期		担当者実務網		護実習普及セ 型社会福祉:	ンター 9年 上事務所 7年			
対象学科·学年	礻	量祉心理	学科	1年				•							
授業概要					を学び、日本 の原理・原見			立i	過程を知るこ	とで現代社会	会の福祉のス	体質を考える 。			
授業形式	講	義: ()	演	習:	実習:		実担	支 :	※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能		その他					目標						
	0				社会福祉	として福	証を学ぶ	意義	義を自らの言	葉で説明す	ることができ	る。			
学習目標		0			社会福祉に	関する	基礎的知諳	tを	身に着け、男	ミ践現場で活	躍できるよう	iになる。			
(到達目標)			0		社会人とし	て必要な	態度や言	葉道	遣いを意識で	きるようにな	る。				
テキスト・教材 参考図書	=	ミネルヴァ書房 社会福祉の原理と政策 回数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数														
	1														
	2	①介護	保険	制度	のゆくえ					授業外学修指	<u></u>				
	3	①障害	者の	自立						授業外学修指	<u></u>				
	4	①障害	者自	立支	援制度創記	サラス とり	と動向			授業外学修指	<u> </u>				
	5	①障害	者自	立支	援制度のし	くみ(1)				授業外学修指	<u></u>				
	6	①障害	者自	立支	援制度のし	くみ(2)				授業外学修指	<u></u>				
1-2 416 = 1	7		者自	立支	援制度にな	いかわる	組織と役害](1))	授業外学修指					
授業計画	8		者自	立支	援制度にな	いかわる	組織と役害	J(2))	授業外学修指					
	9	①障害	者福	祉施	 策のゆくえ					授業外学修指	 示				
	10	①人々	の人	権を	擁護する制	 J度(1)				授業外学修指					
	11	①人々	の人	.権を	擁護する制	」度(2)				授業外学修指					
	12		医療	にか	かわる諸族	 Б策				授業外学修指					
	13		にか	かわ	る法と諸施	 :策				授業外学修指					
	14	①生活	を支	える	諸制度のあ	らまし				授業外学修指					
	15	① ① 高齢	者∙⅓	章害	者の住生活	を支援す	る制度			授業外学修指	示				
	授第	美参加態	度、	期末	試験の結り	₹から総↑	合的に理解	解度	を評価する						
評価方法					į	語情報	知的技能	岜	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
		定	期討	験		0						50%			
		授	業態	度						0		50%			
履修上の注意															

科目名	`	ノーシ	ヤ	ルワ	フークの	基盤。		職	(社会専	門)					
科目名(英)															
単位数		2単位	<u> </u>		時間数		30時間		担当者		西村明				
 実施年度		2022	丰度		実施時期	1		1	担当者実務総	圣験 高齢者	が が施設 社会福				
対象学科・学年	福	·····································	学科	 1年											
	福	温祉の相	談援	助現								ーシャルワーク			
授業概要	7	も理解を	上深め	りる、		法につい	て教授する					倫理などについ 、今必要とされ			
授業形式	講		Э	演習	習: △	実習:		実技	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	息飲	その他					目標	'					
	0	0	0									、説明できる 			
学習目標	0	0	0		TE 1777ER2 .					解を深め、内		. •			
(到達目標)	0	0	0							職種との関れ		5 0			
	0	0	0		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					、具体的に説		ボ ズキフ			
	0	0	0		ソーシャルリ	ーカーと	しての倫地	里餀	と惟利推護に	こついて内容を	と理解し説明	かじざる			
テキスト・教材 参考図書	ソーシャルワークの基盤と専門職(中央法規出版) 回数 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数	マ ³³ 次씨파													
	1	1 第5章ソーシャルワーカーの倫理 予習資料配布													
	2	第5章ソ	ーシ	ヤル'	ワーカーの倫	理				予習資料配布	र्ने				
	3	第5章ソ	ーシ	ヤル'	ワーカーの倫	理				予習資料配布	j				
	4	第6章ソ	ーシ	ヤル'	ワークに係る	専門職の	D概念と範	囲		予習資料配布	र्ग				
	5	第6章ソ	ーシ	ヤル'		専門職の	D概念と範	囲		予習資料配布	1				
	6	第6章ソ	ーシ	ヤル'		———— 専門職 <i>0</i>	D概念と範	囲		予習資料配布	<u>†</u>				
	7	第7章ミ	クロ・	メゾ・	マクロレベル	レにおける	るソーシャル	レワ	リーク	予習資料配布	<u>†</u>				
授業計画	8	 第7章ミ·	クロ・	メゾ・	マクロレベル	 レにおける	るソーシャル	レワ	リーク	予習資料配布					
	9	第7章ミ	クロ・	メゾ・	マクロレベル	における	るソーシャル	レワ	リーク	予習資料配布	<u>, </u>				
	_				包括的な支					予習資料配布	<u> </u>				
					包括的な支					予習資料配布	<u></u>				
					包括的な支					予習資料配布	<u>†</u>				
					の今 ~活路				-	外部出前講座	 Ā				
					の今 ~職制					外部出前講座					
		後期の担				LEI PT-70	J 1 73.			71 10 11 11 11 11 11					
	① 宿	国題やレス ミし評価で	ポート	 を数	四実施する							な・態度などを D(59点以下)と			
評価方法					言	語情報	知的技能	F	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		定	期試	験		0	0					70%			
		宿題	・レオ	ポート		0	0			0		15%			
		グルーフ	プワー	ク・き	発表	0	0			0		15%			
履修上の注意	出	は席が3分	分の2	2に清	あたない場合	は、定期	試験の受験	倹資	督格を与えな し	, \ _o					

科目名	`	ノーシ	ヤ	ルワ-	ーク演	習(社	t会専	門I)						
科目名(英)															
単位数		4単位	<u>ታ</u>		時間数		60時間		担当者		馬場 -	 -美			
実施年度		2022年	度		実施時期	玥	後期	ŧ.	旦当者実務総	圣験 居宅介記	雙支援事業所に	て相談員として勤務			
対象学科·学年	礻	晶祉心理	学科	1年											
授業概要	そ	の上で、珍	場での	の応用を	見据え、さま	ざまな事例	列を通して、利	川用者か	での有する能		を持った自立生	していくことになる。 活を営むことができる			
授業形式	講		O	演習:	0	実習:		実技	. 0	※ 主た	-る方法:○	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度意欲	その他					目標						
学習目標	0	0 0	0				数を体験を通			知」 中叶マキ フ					
(到達目標)	0	0	0							解し、実践できる 期限通りに提出・					
	0	0	0							践的に習得することが		0			
テキスト・教材	• ;	株式会社	みらし	ヽ「ソー	シャルワー	-ク演習ワ	ークブック」								
参考図書	•	中央法規	出版	株式会社	上「相談援	助演習教	対員テキスト	١							
	回数				授業	項目·内容	7				授業外学修指	示			
	1	夏季休暇	中の自	主実習捌	長り返り①					活動報告書を準	備しておく				
	2	夏季休暇	中の自	主実習捌	長り返り②					活動報告書を準	備しておく				
	3	高齢者と	その家	族への相	談援助(居	宅介護・施	設介護)			指定テキスト及び	び配布プリントを	読んでおくこと			
	4	障害者とる	その家	族への相	談援助					指定テキスト及び	び配布プリントを	読んでおくこと			
	5	児童とその家族への相談援助 指定テキスト及び配布プリントを読んでおくこと 外部研修/地域福祉におけるSW業務について(事前準備) 配布プリントを読んでおくこと 外部研修/地域福祉におけるSW業務について(講演会参加) 指定テキストを読んでおくこと													
	6	外部研修/地域福祉におけるSW業務について(事前準備) 配布プリントを読んでおくこと													
	7	外部研修/地域福祉におけるSW業務について(講演会参加) 指定テキストを読んでおくこと 外部研修/地域福祉におけるSW業務について(振り返り) 指定テキストを読んでおくこと													
	8	外部研修/地域福祉におけるSW業務について(振り返り) 指定テキストを読んでおくこと SW実習の実際から援助について学ぶ(報告会参加) 配布プリントを読んでおくこと													
	9	外部研修/地域福祉におけるSW業務について(振り返り) 指定テキストを読んでおくこと SW実習の実際から援助について学ぶ(報告会参加) 配布プリントを読んでおくこと													
	10	SW実習の実際から援助について学ぶ(報告会参加) 配布プリントを読んでおくこと SW実習の実際から援助について学ぶ(報告会参加) 指定テキストを読んでおくこと													
	11														
	12	コミュニケ	ーショ	ン演習①	言語非言語	的コミュニ	ケーションGV	٧		指定テキスト及び	び配布プリントを	読んでおくこと			
	13	自主実習	①(福	祉現場を	体験しよう)	事前学習				指定テキスト及び	び配布プリントを	読んでおくこと			
	14	自主実習	2(福	祉現場を	体験しよう)	事前学習				配布プリントを読	もんでおくこと				
授業計画	15	自主実習	③(福	祉現場を	体験しよう)	事前学習				指定テキスト及び	び配布プリントを	読んでおくこと			
	16	自主実習	4(福	祉現場を	体験しよう)	事前学習				指定テキスト及び	び配布プリントを	読んでおくこと			
	17	コミュニケ	ーショ	ン演習②	言語非言語	的コミュニ	ケーションGV	٧		配布プリントを読	もんでおくこと				
	18	コミュニケ	ーショ	ン演習②	言語非言語	的コミュニ	ケーションGV	٧		配布プリントを読	もんでおくこと				
	19	自主実習	①(福	祉現場を	体験しよう):	現場実習				配布プリントを読	もんでおくこと				
	20	自主実習	①(福	祉現場を	体験しよう):	現場実習				配布プリントを読	もんでおくこと				
	21	自主実習	振り返	り学習①	ミニ報告会	準備)				PPTなど発表資	料作成				
	22	自主実習	振り返	り学習②	ミニ報告会	準備)				PPTなど発表資	料作成				
	23	自主実習	ミ 二≢	设告会①						作成した資料の	印刷など				
	24	自主実習	ミ 二≢	设告会②						作成した資料の	印刷など				
	25	施設見学	振り返	り学習②	/利用者との	関わりに	ついて振り返	Ŋ		配布プリントを読	もんでおくこと				
	26	事例検討	①(数	種類の事	例をもとにま	を援内容に	ついて検討す	する)		配布された事例	を読んでおくこと				
	27	事例検討	①(数	種類の事	例をもとにす	を援内容に	ついて検討す	する)		配布プリントを読	えんでおくこと				
	28	事例検討	①(数	種類の事	例をもとにま	を援内容に	ついて検討す	する)		PPTなど発表資	料作成				
	29	事例検討:	発表会	È						作成した資料の	印刷など				
	30	振り返りま	とめ							配布プリントを読	えんでおくこと				
				-					対する意欲等						
		部1曲部曲岩	を华は	、5(90点)点以上) • 語情報	B(70点以上) 知的技能		点以上)·D(59 運動技能	9点以下)とする。 態度・意欲	その他	評価割合			
評価方法		レポー	ト・演	習記録		©	O	10	ペニッパル	心汉心队	C 47 IE	40%			
			席状			0	0					20%			
		授業態	度∙発	表内容		0	0		0	0		40%			
履修上の注意							厳守で提出す	すること	•						
	1,	/3以上の出	席が	ない場合	は単位を与	えることが	できない。								

科目名		交流	流し	ヹミ	Ι.	-2										
科目名(英)																
単位数		1	単位			時間数			16時間		担当者		森田康	₹雅		
実施年度		20	22 [±]	丰度		実施時期	Я.		後期		担当者実務網	経験 居宅	三介護支援事業	所にて相談員		
対象学科·学年	₹	畐祉・	心理:	学科	1年		,									
授業概要						年の学生を する「交流会 _」							を超えた交流	流を図る。 最終的		
授業形式	講	義:			演 ²	習: 0	実習	달:	0	実打	支:	※ 主	こる方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他						目標					
				0		積極的な姿勢を	持って	、他学	年の学	生やグ	ループ内の学生	とコミュニケーシ	ノョンを図ることが	できる。		
学習目標					0	物事の段取りを	修正し	ながら	、臨機応	変な対	対応を行いつつ	も計画的に行事	を実行することが	できる。		
(到達目標)				0		物怖じすることが										
					0	グループの中心		• • •								
					\bigcirc	人間同士の関本	りりの中	中で、ノ	し間関係	の調整	を図ることがで	きる。 				
テキスト・教材 参考図書	t	ïί	授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数															
	1	グル	グループ内の自己紹介・他己紹介													
	2	グル														
	3	グループ内でのレクリエーション														
	4	グル	 レ ー フ	プ内で	でのし		ン									
						ノクリエーショ										
		-				ンクリエーショ ンクリエーショ										
	7			_		ンクリエーショ ンクリエーショ										
授業計画						ンクリエーショ ンクリエーショ										
		771		/ /\ <u>\</u>	COT	ンソリエーショ	17									
	9															
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15															
	ゼミ	に臨	む姿	姿勢、	態度	きが第一優先	とする	5.								
評価方法						言	語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
			出	席状	況							0		100%		
		_							-							
履修上の注意	2	2/3 J	以下(の出	席状	況にて、単位	習得	不可	とする。							

科目名	=	手言	舌													
科目名(英)																
単位数		2	単位	:		時間	数		30時間		担当者			井形	美子	
実施年度		202	22年月	度		実施問	期		後期		担当者実務	手話 ^表	奉仕員	養成講座講師 して活動	i歴20年(現在も詞 カ中)	講師と
対象学科・学年	礻	畐祉心	ン理学	2科1	1年											
授業概要	技	非除と	いう事	情も	加扌	つて、聴覚	障がい	に対っ	する認識に	ま、手		が先行し、	聴覚	章がいそのも	現場における らのへの認識か 目指す。	
授業形式	講	義:	Δ		演	≌: ○	実	習:		実技	 支:	*	主たる	5方法∶〇	その他:△	
	言語 情報	知的 技能		態度意欲	その他						目標	Į				
		0				聴覚障が	ハ者と	「見る	らことば」。	として	の手話を学	び、手話の)特徴	を選択する	ことができる) _o
学習目標	0					聞こえない	人の『	呼称な	とコミュニ	ケー	ション手段を	説明する	ことが	できる。		
(到達目標)	0					耳の構造	を学び	、聴力	力低下に	なる	ことと障がい	になる原因	目を説	明すること	ができる。	
				0		聴覚障が	ハ者に	つい	てを意欲	的に	配慮すること	ができる	>			
				0		手話で自	己紹介	を表	現するこ	とがっ	できる。					
テキスト・教材 参考図書	Γ	新・手話ハンドブック」三省堂														
	回数	 手託を効果的に学ぶために / 授業の際に必要な挨拶の手託表現 授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートに														
	1	手話を効果的に学ぶために / 授業の際に必要な挨拶の手話表現 授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(0.5時間)													にま	
	2	手話を効果的に子ぶために / 技業の際に必要な挟移の手詰衣切 とめること(0.5時間) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(0.5時間)													語等	
			手話とろう者 / 指文字表現 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(0.5時間) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(0.5時間) 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等													語等
			手話とろう者 / 指文字表現 教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(0.5時間)													
						し間関係σ						教科書の認	当範囲	を事前に読る	み、わからない用	語等
						R障 / 年月			. 託 惠 珇			は調べてお 教科書の記			み、わからない用	語等
						ニケーション				计生活	 について		当範囲	を事前に読る	み、わからない用	語等
授業計画						おきる仕組					11-20		当範囲	を事前に読る	み、わからない用	語等
						事の手話		23771 -	7 111 2				当範囲	を事前に読ん	み、わからない用	語等
	10	手記	 (単語	 ∃Ωπ	せい 7	ユち / 主な	:名詞(1	 ົາ <i>ຫ</i> =	手話表現				当範囲	を事前に読る	み、わからない用	語等
						まする際の					 壬飪耒珇	は調べてお 教科書の記			み、わからない用	語等
						後習	10.144.70		C.Q. [1]		1 1111231		係る確		施するので、復	習して
		-				演習評価	/ 趣味	*の引	 F話表現				係る確	認テストを実	施するので、復	習して
	14	聴覚	障が	いま	当と=	コミュニケー	 -ション	手段				おくこと(0.5 教科書の記 は調べてお	当範囲		み、わからない用	語等
	15	感想	文作	成 /	/ 正	試験出題	節囲の	説明	/ 指文	字表现	見復習		係る確		施するので、復	習して
	以上	-を下	記の	観,	点・害	実施する。 側合で評価 0点以上)・	する。				iする。 上)・C(60点り			下)とする。		
評価方法							言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意	欲	その他	評価割る	<u></u>
		表	現発	表(実技	()						0			20%	
		定	期試	t験 (:	筆記	!)	0		0						80%	
履修上の注意	ㅂ	出席な) [*] 10⊡	3(5)	満た	ない場合に	は、定其	钥試馬	倹(筆記) の	の受験	検資格を与え	ない。				

科目名	Į	ノクリ	エ-	ーシ	/ョン										
科目名(英)	re	ecreation	n												
単位数		2単化	立		時間数	t	30時間		担当者			 野里子			
実施年度		2022	年度		実施時	期			担当者実務組	経験 準上系	エーショ マレクリエーショ	 ンインストラクター			
対象学科・学年	福	量祉心理	 !科	1年											
授業概要	2022年度 実施時期 後期 担当者実務経験 準上級レクリエーションインストラグ 福祉心理科														
授業形式	講	義: 4	Δ	演 ²	習: 0	実習	習:	実	技: △	※ 主	たる方法: 〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他					目標						
	0	0	0		レクリエーシ	ョンが牧	特定の人や明	寺間に	限定されるので	だはなく人権で	あることを知る。)			
学習目標	0	0	0		人によって異	なる心	か体の課題	を理解	ない 個々人に	対し利用者分	折を行うことがで	ごきる 。			
(到達目標)	0	0 0	0		個人への事	前評価	を基に、利用	者の記	果題解決に向い	ナた援助行動	ができる。				
	0	0 0	0		集団も個人の	の集まり	りであることを	を理解し	し、生活の快を	追求するため	の集団援助が	できる。			
	0	0	0		身の回りにあ	5るレク	リエーション	のため	の社会資源を	10以上あげる	ことができる。				
テキスト・教材 参考図書	7	回数 授業項目・内容 授業外学修指示 1 レクリエーションとは 意義・支援の目的 資料を読み、復習をしておく													
	回数	70 Male 57 9 - 667 777 de 1 - or 4 x /													
	1	1 レクリエーションとは 意義・支援の目的 資料を読み、復習をしておく													
		2 福祉分野におけるレクリエーション援助過程													
		福祉分野におけるレクリエーション援助過程 資料を読み、復習をしておく													
		福祉ガ野におけるレグリエーション振助過程													
		福祉が野におりるレクリエーション振助過程 アセスメントと目標設定 レクリエーション支援の方法1ホスピタリティ 資料を読み、復習をしておく 資料を読み、復習をしておく													
	Ě		-					17							
授業計画	7	レクリエ	ニーシ	ョン3	支援の方法4	4活動	のアレンジ	方法							
	8	レクリエ	ニーシ	ョン	舌動の体験	個人	援助			資料を読み、行	夏習をしておく				
	9	レクリエ	ニーシ	ョン	舌動の習得	CSS	プロセス			資料を読み、行	夏習をしておく				
	10	レクリエ	ニーシ	ョン	舌動の習得	歌∙音	音楽にあわっ	せた身	·体活動	資料を読み、行	复習をしておく				
	11	レクリエ	ニーシ	ョン3		シムのコ	 立案方法			資料を読み、行	复習をしておく				
	12	レクリエ	 :ーシ	ョン3	 支援プログラ	シムのコ	 立案			自分の想定す	る対象者で立案・	考察する			
	13	レクリエ	ニーシ	ョン3	支援の実施	総合	演習1			援助技術の向	上という視点で評	価シートの作成			
	14	レクリエ	ニーシ	ョン3	支援の実施	総合	演習2			援助技術の向	上という視点で評	価シートの作成			
	15	まとめ	完成	版	レクリエーシ	ョン活	<u></u> 動プログラ	ムのイ	 乍成			 営版プログラムを作			
	定期 (80)]試験を実	€施す 3(70点	る。6	0点未満は再	試。なる	お出席が2/3	3に満た	∵ない場合は定	期試験は受け		・偏しておく 			
					Ī	語情	報 知的	技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法		実	技証	大験			()		0		30%			
			テス	-		0	()				40%			
		宿題	[・レフ	ポート		0	()		0		20%			
		発	表•作	乍品		0	()		0		10%			
履修上の注意											ク等に積極的 可きに努力して	に参画していな ください。			

科目名	情報処理	里Ⅱ													
科目名(英)	Information P	rocessing I													
単位数	2単位	時間数	30時間		担当者		岡部 芽	—————— と子							
実施年度	2022年度	実施時期	後期		担当者実務経験	シス		アとして勤務							
対象学科・学年	福祉心理学科	 斗・1年													
授業概要	と、資料づくり		ともいえるソフト「Po でプレゼンをサポー 。												
授業形式	講義: 〇	演習: 〇	実習:	実技	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△							
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲	その他		- II	目標										
学習目標	0	PowerPointを	活用して、表現力豊	かなスラ	ライドやA4書類が作	成できる									
(到達目標)	0	ストーリーを	考え、相手に伝わる	プレゼン:	ができる										
	0 0	演習課題など	ごに自主的に取り組む	み理解を	深めることができる	5									
テキスト・教材 参考図書	·FOM出版 忄	OM出版 情報リテラシー 入門編 Windows 10/Office 2019対応 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数		授業項目·内容				授業外学修	指示							
	1 ガイダンス、	77.1 タンス、PowerPoint基本操作(1) こと(1時間) こと(1時間) テキストのポイントを復習し、理解 7 キストのポイントを復習し、理解 7 キストのポイントを復習し、 2 キャストのポイントを復習し、 2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・													
	2 PowerPoint	カイダンス、PowerPoint基本操作(1) こと(1時間) PowerPoint基本操作(2) 表、グラフ、図、図形の操作 テキストのポイントを復習し、理解こと(1時間) PowerPoint基本操作(2) アーメーション効果 リハーサル。 テキストのポイントを復習し、理解													
	3 PowerPoint	PowerPoint基本操作(2) 表、グラフ、図、図形の操作 テキストのポイントを復習し、理解こと(1時間) PowerPoint基本操作(3) アニメーション効果、リハーサル テキストのポイントを復習し、理解こと(1時間)													
	4 PowerPoint	基本操作(4) マスタ	マースライドの作成と	:利用			ントを復習し、理	解不足を補っておく							
	5 演習(1)−1 オ	 ポスター作成					ントを復習し、理	解不足を補っておく							
	6 演習(1)-2 オ	 ポスター作成&評値	 T				ントを復習し、理	解不足を補っておく							
			を確認するテストと	 解説			ントを復習し、理	解不足を補っておく							
授業計画	8 プレゼンを反	成功させるための=	コツを学ぼう			テキストのポイ	ントを復習し、理	解不足を補っておく							
			自分をプレゼンしよ	<u></u>				備や各自の意見を							
			ーリー構成、企画書				となる資料の準	備や各自の意見を							
		ブループ発表 - 発		3 1F7%				解不足を補っておく							
		, ループ発表 - 発 ブループ発表 - 発					ントを復習し、理	解不足を補っておく							
		, ループ光衣 元 ブループ発表 - リ/						ように各自でリハー							
							で手直しておく プレゼンができる	こと(1時間) らようにグループでリ							
		ブループ発表 - 本	台、計1 四				としておくこと(1日 講師配布レジュ	特間) メのポイントを復習							
	15 定期試験					し、理解不足を	補っておくこと(1	時間)							
	以上を、下記の	割合で評価する	□間テストを実施(3 A(80点以上)・B(70点			点以下)とする									
評価方法		言語	吾情報 知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合							
计侧力法	定期討	t 験	0					50%							
	中間テ	スト	0					20%							
	演習		0			0		10%							
	グループ	¹ 発表	0			0		20%							
履修上の注意	グループ ・わからないこ	プ発表 ことは質問して授業				0									

科目名		自己	己表	瑟	ĮΠ												
科目名(英)																	
単位数		2	単位	Ī		時間数		30時間		担当者		岡山直	〕之				
実施年度		202	22年	度		実施時期	J	後期		担当者実務網	経験 美	術家歴35年(現	社在も活動中)				
対象学科·学年	礻	畐祉心)理:	学科	1年		•										
授業概要	₹	長現を	通L	て作	也者。	ヒの関係性の	構築を覚	学ぶ(クラス	ス全体	k)							
授業形式	講	義:	Δ	7	演	習:	実習:		実技	支: 〇	※ 主 <i>t</i> :	≿る方法:○	その他:△				
学習目標	言語情報	知的技能	運動 技能	態度意欲	その他						でき、話し合い でき、話し合い						
(到達目標)	0	0	0	0							現できるよう! 言を持てるよう						
テキスト・教材 参考図書	t	±11/5 15 25 27 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															
	回数		授業項目・内容 授業外学修指示 クラス全体で作品を作るにあたってのオリエンテーション 表現作品についてイメージする														
	1	クラ	ラス全体で作品を作るにあたってのオリエンテーション 表現作品についてイメージする														
	2	発表	表作品に対しての話し合い①														
	3	発表	表作品に対しての話し合い①														
	4	発表	作品	こに	対して	ての話し合い	③(役割:	分担)									
	5	制作	およ	び糸	東習(1)					材料や制作に関	するものは事育	うに準備する				
	6	制作	およ	び糸	東習(2											
授業計画	7	制作	およ	び糸	東習(3											
汉未们日	8	制作	およ	び糸	東習(4											
	9	全体	通し	稽	51						自主練習を促す	-					
	10	全体	通し	稽	52												
	11	制作	およ	び糸	東習(5											
	12	リハ	ーサ	.ル(1	D												
	13	リハ	ーサ	·11/2	2)												
	14	発表															
	15	振り	返り	、話	し合	い、レポート作	F成										
	②請	乱合	い、	振り	返り	作成し発表す のレポートを・ 評価する。		ò									
評価方法					-	言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
肝臓刀法				ポー			0	0	_		0		50%				
			1F :	品発	衣		0	0	\dashv	©	©		50%				
									+								
履修上の注意	Í	マ席カ	₹5回	以」	ヒにた	る場合は単	位を与え	ない			l		l				

科目名	,	グロー	-/Š	シル	シティズ	ンベー	ーシッ	ク I	I							
科目名(英)																
単位数		1単位	立 立		時間数		8コマ		担当者				 捷雅			
実施年度		2022年度 実施時期 後期 担当者実務経験 精神科病院にて医療ソーシャルワーとして勤務 福祉心理学科1年 (1) 充実した人生を送る人たちの考え方にたくさん触れる(2) 力のあるメッセージにたくさん触れる。(3) 歴史界の動き、日本の課題、若者の意識などデータや情報と向き合う。(4) 先輩やきらすめーとたちの考え識に触れ、自分自身を振り返る。 演習: ○ 実習: 実技: ※ 主たる方法:○ その他: △ 議議 関策 原理 では 表えることの大切さを知る。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○														
- 112 1 12	4			1左		,	1277		123'67'0	اع 🛰	て勤務	<u> </u>				
対象学科・学年	<u> </u>	虽征心理	子科	-1年												
授業概要	t	世界の動	き、F	日本の	の課題、若者	の意識										
授業形式	講	義: (0	演 ²	習: 0	実習:		実	支:	*	主た	る方法:〇	その他:△			
	言語情報			その他					目標	Ę						
	0							-n 7								
学習目標 (到達目標)	0															
(2122 147)			+			_ ,		ี่ ผ⊘∘								
					13237 071	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, - 10									
テキスト・教材 参考図書	G	GCB II 学	CB II 学生用テキスト 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数		授業項目·内容													
	1	グロー/	コーバルシティズンと志振り返りレポート作成													
	2	なぜ志る	コーバルシティズンと志 振り返りレポート作成 まり返りレポート作成 振り返りレポート作成													
	3	自己を知	コーバルシティズンと志 振り返りレポート作成 まり返りレポート作成 振り返りレポート作成													
	4	伝える	力を引	学ぶ ((1)					振り返り	レポート	作成				
	5	伝える	力を引	学ぶ ((2)					振り返り	レポート	作成				
	6	与えられ	<i>1t</i> :−	-度(の人生に感謝	し、心高	ら生きる			振り返り	レポート	作成				
T20 48-21	7	自己の	大切	さと責	責任を自覚す	る				振り返り	レポート	作成				
授業計画	8	GCB II ?	を受記	講して	て、感じたこと	、気づい	たこと、学	らんた	こと	振り返り	レポート	作成				
	9															
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15															
	(2) (3)	グループ	ワー/ !上の	ケに参 の出	成し提出する(参加し自分の考 席をすること。: な。	えを発現				場合は出	席とみ	なさない場合	もある。			
評価方法					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•	意欲	その他	評価割合			
			[・レ7		•	0	0			0			30%			
			表・化			0	0			0			20%			
			席状							©			20%			
履修上の注意					限を守ること い場合もある。					受業態度	まが著!	しく悪い(居間	眠りや私語)場合			

科目名	-	カウン	セ	リン	ノグ概論	Ħ									
科目名(英)															
単位数		2			時間数	t	15	担当	当者		富沢理	 !恵			
実施年度		2022年	度		実施時	期	後期	担当者等	実務経験			・心理カウンセラー グ業務に従事			
対象学科・学年	礻	国祉心理	学科	1年	<u> </u>							> PR 333 - PC 3			
授業概要	Γ 3 1	受容・共 う自身に リ、新たな	感・f つい に自	頃聴 て」を 分」0	を実践で使 自身で再研 発見を促す	えるよう理 望認すると け。また、「	里解する。 ともに、「∉ 交流分析	また、ロール 也者からみら 」を用いて「E	プレイン れている	グで「私を 自分」と「	語る」のとき 自分が思う	グで必要な技法 に必要となる「自 自分」の違いを知 ・「会話分析」・「ス			
授業形式		()	演 [:]	習: △	実習:		実技:		※ 主た	-る方法:○	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他					目標						
	0	0	0		カウンセリン	ノグで必要	な技法を	理解し実践で	で活用す	ることがで	できる				
学習目標	0	0	0		交流分析の	エゴグラ	ムを理解し)自己理解を	深めるこ	とができ	る				
(到達目標)	0														
	0	〇 ○ 交流分析のストローク理論を理解し他者と円滑にかかわることができる													
		詳師作成ハンパアウト													
テキスト・教材 参考図書	ii.	講師作成ハンドアウト 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数														
	1	数 授業項目・内容 授業外学修指示 ・オリエンテーション ・心理カウンセリングとは													
	2	・オリエンテーション ・心理カウンセリングとは 授業内の傾聴訓練で「自分のこと」を語ることができるよう、ワー													
	3							 シェアリンク	ř						
	4		セリ:	ングロ	の言語的技法	まとは・「党	で容」繰り	返し」明確	化」						
	5		」「質	 問」「											
	6				ロールフレ	イング・?	ブループシ	ェアリング	·全						
	 	・カウン	セリン	ングロ	の非言語的	支法とは・	場面構成	ひの方法・□	視						
授業計画		線」「表」	情」「 セリ:	ジェス	スチャー」「身 ひ非言語的な	♪体接触」 支法とは・	「声の質量 「服装IIA	けんしょう けいほうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょ はいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう							
	8	守山重	華濃	LVI											
	9														
	10	交流分	折と	は											
	11	・エゴグ	ラム	とは	・エゴグラム	ムの作成									
	12	・エゴグ	ラム	のシ	ェアリング										
	13	交流分	折か	ら考え	える「会話」(の分類									
	14	・ストロー	ークと	とは	・条件の有	無/否定・	肯定のス	トローク							
	15	カウンセ	ヹリン	グ現	場での交流	分析の導	入								
評価方法															
H M > 3 /23	1														
						0	0					70%			
		ワーク・	発表	·提	出物	0	0			0		30%			
履修上の注意	ᆸ	出席が3分	うの2	2に満	たない場合	は、定期	試験の受験	検資格を与 <i>え</i>	ない。						

科目名	\		ا رد،	1.5		₽迴₺			——— 専門 I)						
科目名(英)			(,)	ν.		H 11	日会 (江	. 云 ·	寸 门1/						
単位数		3単位			時間	Вtт	46時間		担当者			 			
						-									
実施年度		2022年	-		実施問	· 期	後期		担当者実務組	全駅 居日	光介護支援 事業	所にて相談員 			
対象学科・学年	福	祉心理:	学科	1年											
授業概要	あ	る。							術を総合的に 目談援助実習			とが主たる目標で			
授業形式	講義	養: ()	演習	習: △	実習	': Δ	実	技:	※ 主	たる方法:○	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他					目標						
	0	0	0		ソーシャル	レワーク	実習の意義	につ	いて説明でき	き る。					
学習目標 (到達目標)	0	0	0		対象者の	抱える生	活課題や	思いる	を理解する。						
(到连日保 <i>)</i>	0	0	0		ソーシャル	ワークに	 係る知識と打	支術に	ついて具体的	 かつ実際的に	理解し実践的な	 は技術を体得する。			
		0	0		実習に必	要とされ	る基本的創	態度を	示すことがて	 きる。					
テキスト・教材		授業項目•内容 授業外学修指示													
参考図書	□ *h														
	\vdash	ソーシャルワーク実習とは/学科オリエンテーション													
		ソーシャルワーク実習とは/学科オリエンテーション ソーシャルワーク位置づけ、ガイドラインの基本的な考え方 テキストの該当部分を事前に読んで確認しておく ソーシャルワーク業務について理解する テキストの該当部分を事前に読んで確認しておく													
	I I	ソーシャルワーク位置づけ、ガイドラインの基本的な考え方テキストの該当部分を事前に読んで確認しておく													
		障害分野										んで確認しておく			
		障害分野								テキストの該当	部分を事前に読	んで確認しておく			
	7	障害分野	野の理	里解(4					テキストの該当	部分を事前に読	んで確認しておく			
	8 :	各専門耶	敞との	連携	隽のあり方	を理解す	-る①			テキストの該当	部分を事前に読	んで確認しておく			
	9 i	高齢者の	分野へ	〜 の3	理解①					テキストの該当	部分を事前に読	んで確認しておく			
		高齢者の								テキストの該当	部分を事前に読	んで確認しておく			
132 4k 등上 (35)		高齢者名										んで確認しておく			
授業計画	\vdash	各実習版	-		解①							んで確認しておく			
	_	記録の記録の記録の記録の記録の記録の記録の記録の記録の記録の記録の記録の記録の記										んで確認しておく			
		記録の				1 471 - 1- 7 (-	•					んで確認しておく			
					こついて理						確認しておくこと				
	-				こついて ^理 平価シート						確認しておくこと 部分を事前に詰	んで確認しておく			
					関わり方に							んで確認しておく			
					ラいて(1)	. 50 . 0 .	±/1+ 7 °O			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	A-77 C 7 1331 - 130	んで確認しておく			
					フいて(2)							んで確認しておく			
	-				ついて振り	返り及び	「テスト			配布した資料を	確認しておくこと				
	22	春期自3	主実習	』に	ついて③					テキストの該当	部分を事前に読	んで確認しておく			
	23	配属実習	習につ	ついて	C					テキストの該当	部分を事前に読	んで確認しておく			
	24	後期授美	業の扱	長り込	☑り及びSV	実習に	向けての課	題整	理	配布した資料を	整理しておくこと				
	下記	の観点	•割合	で評	呼価する。						習報告会を実 9点以下)とす	『施する。以上を [·] る。			
評価方法						言語情幸	日 知的技	技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
			題提			0	0			0		50%			
			トテス		-	0	0					40%			
		出席		_		1n 54 1 → 1	U eta 22. (- (-	1 <i>L</i> '	7-1:0-1:	©		10%			
履修上の注意									ることができ ^ヵ :不可となる。	よい。					

科目名	-	ーー 高齢者	生	三礼	_										
科目名(英)	<u>'</u>	-, -, -			_										
単位数		2単位	<u></u>		時間	数		30時間		担当者		—————— 大坪秀	 }生		
実施年度		2022年			実施	持期				担当者実務組		高齢者施設の			
対象学科・学年	∤			1年								ケアマネジャー	ーとて勤務		
738714 14				•		実情やる	そこに	かかわる	福祉	専門職としての)心構えを基礎	に、高齢者施	 設実習を視野に入		
授業概要	<i>*</i> *	1、より具ん 質を知り、	体的 ^を	な学て プラン	バ <mark>へ</mark> つなげ 作成のプロ	る。各論の	という 既念を	うべき介護(と学ぶことで	呆険 で、他	制度について、 b科目の理解へ	その理念や成	り立ち・介護説 く。また、終末算	設定やサービス種 明ケアや権利擁護		
授業形式	講	義: (O	演	習: △	文 実	習:		実	技:	※ 主た	-る方法:○	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他						目標					
	0	0	0		介護保険制	度の成り	立ちも	や実情を知り	人考	えや意見を述べ	ることができる。				
学習目標	0	0	0	0	生活の豊か	さや平和	につし	いて考え、相	手の	立場に立つ・尊	厳の保持を意識	して過ごすことか	できる。		
(到達目標)	0	0	0	0	高齢者が生	きてきたほ	時代を	を知り、その[内容?	を今後の実習に	活かせるようにな	る。			
	0	0	0	0	命の尊さや	人権につ	いて学	さび・考え・行	動す	トることができる。 	•				
		0	0	0	専門職とし	ての倫理	観や社	t会に出るた	:めの	準備・意識づけ	を行う。				
テキスト・教材 参考図書	>	※検討中 〇講師作成資料 〇時事話題 〇介護保険関係資料(公式ホームペーラ・・ネットニュース他) 数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数														
	1	オリエンテーション・アンケート記入 この科目の注意事項を伝えます													
	2	オリエンテーション・アンケート記入 この科目の注意事項を伝えます 知識チェック・アンケート 知識チェック・アンケート													
	3	高齢者(の支	援に	ついて 특	事例検討	t				ニュース・新聞等	 等で自治情勢を	知る		
	4	現場で値	吏用-	する耳	専門用語	実習前	ĪΙΞ				ニュース・新聞等	等で自治情勢を	知る		
	5	20xx年	問題	[•地:	域包括支	援ケアシ	ノステ	Fل			ニュース・新聞等	等で自治情勢を を	知る		
	6	高齢社会	会対	策基	本法 ソー	シャルワーカ)-の	倫理綱領	į		ニュース・新聞等	等で自治情勢を 	知る		
+10 11 = 1 i=i	7	介護保障) 険制	度の	しくみそ	の1 制	度の	概要			ニュース・新聞等	等で自治情勢を 	切る		
授業計画	8	介護保障	険制.	度の	しくみそ	の2 要	介護	認定の流	īħ		ニュース・新聞等	等で自治情勢を 	知る		
	9	介護保障) 険制	度の	しくみそ	の3 サ	ービ	スの内容	•種	類	ニュース・新聞等	等で自治情勢を 	ଘଟ		
	10	ケアマネ	ヘジメ	シト	の意義・個	値につ	いて				ニュース・新聞等	等で自治情勢を を	ଘଟ		
	11	ケアプラ	シ・	ケア・	マネジメン	トについ	いて				ニュース・新聞等	等で自治情勢を を	ଘଣ		
	12	認知症	とは'	? 7	のケアに	ついて					ニュース・新聞等	等で自治情勢を	ଘଟ		
	13	権利擁護	護∙흠	易齢者	を 信待につ	ついて					ニュース・新聞等	 等で自治情勢を	 切る		
	14	命 とは									ニュース・新聞等	等で自治情勢を 対			
	15	まとめ	振り	返り											
	(3)5 成約	定期試験 責評価基	(筆i 準は	記)を 、S(実施する 90点以上	。以上)•A(80	を下 点以	記の観点 上)・B(70	(•割 0点)	合で評価する	点以上)・D(59		⁻ る。		
評価方法						言語情	報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合		
		定	期討	験		0		0				0	67%		
		小テス	\- \-	ノポー	-ト	0		0				0	15%		
		グルーフ	゜ワー!	か発	表	0		0			0	0	18%		
履修上の注意	 -	出席が10	回に	満た	ない場合	は、定期	月試馬	険の受験	資格	を与えない。					

科目名	教育心理学											
科目名(英)												
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者		大黒剛						
実施年度	2022年度	実施時期	実施時期 後期 担当者実務			経験 発達臨床心理士						
対象学科•学年	福祉心理学科1年	<u>.</u>										
授業概要	人間が学校へ行き、勉強をするのは社会性と共に思考力を身につけるためであり、社会福祉の「人財」として求められる「問題解決能力」を培うためには学習して行き続けることが重要であることを理解できるようにする。さらに、教育者になるために自分自身がどのように自分を見つめ、自分を成長に導けば良いかを考えるきっかけとする。											
授業形式	講義: 〇 演	習: △ 実	習:	実技:	※ 主た	-る方法:○	その他:△					
学習目標 (到達目標)	信頼 保能 機能											
テキスト・教材参考図書	近大教科書『保育のための教育原理』垂水直樹・金俊華・大間敏行・三木一司著 ミネルヴァ書房											
授業計画	回数 授業項目・内容 授業外学修指示 1 「教育」とは?教育を学ぶ意義 ~ イントロダクション あなたがこれまで受けた印象的な授業についてるでおくこと。 2 教育心理学の歴史と教育方法について。 教科書内の指定されたページを読んでおくこと。 3 『伝える動画』 作成オリエンテーション① How to物の動画を探しておくこと。 4 『伝える動画』 作成オリエンテーション② どのような動画を作成したいか、考えておくこと。 5 子どもの特徴と学習プログラム(発達心理学的視点) 教科書内の指定されたページを読んでおくこと。 6 動機付けと学習意欲 モチベーションが下がってやる気が起きない時にのようにやる気を出すか考えておくこと。 7 古典的条件付けと学習理論 教科書内の指定されたページを読んでおくこと。 8 記憶のメカニズム おが語れるようにしておくこと。 9 授業の心理学① 授業学習の種類 教科書内の指定されたページを読んでおくこと。 10 授業の心理学② 授業学習の種類 教科書内の指定されたページを読んでおくこと。 11 教育評価 教育評価の種類とその使い道 教科書内の指定されたページを読んでおくこと。 12 パーソナリティーの理解 性格 自分の性格とはどんな性格か、説明できるようにおくこと。 13 集団と個人の心理学 自分は他人からどのように見られているか。 自分は他人からどう見られているのか、想像してこと。 自分は他人からどう見られているのか、想像してこと。 日本と世界の教育方法の比較。 欧米諸国と日本の教育の違いについてリサーチ おくこと。 大きと											
	15 まとめ 教科書とアートを熟読して、アストに関する頁向を考 ておくこと。 (1)授業の出席状況。 (2)レポートと調べ学習への取り組み状況と理解度。 (3)科目試験の対象となるため定期試験は行わない。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
評価方法		言語情	報 知的技能	進 運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
	試験	0	0		0		70%					
	グループワー		0		0		20%					
	小テスト・レポー	<u>-</u>	0		0		10%					
履修上の注意	出席が2/3に満た	ない場合は、評価	の対象としない	ゝ。レポート2冊を	提出しなけれ	ば科目試験を	を受験できない。					

科目名	 精神保健福祉の原理 I														
 科目名(英)	Principles of Mental Health and Welfare I														
単位数	2単位 時間数 30時間 担当者									森田康雅					
実施年度	2022年度				実施時	施時期 後期			担当者実務	圣験 精	精神科病院にPSWとして勤務				
対象学科・学年	福祉心理学科1年														
授業概要	本科目は、精神保健福祉士として精神障がい者への支援を行うにあたり、その考え方や視点を養うための科目である。そのため、①日本及び諸外国が精神障がい者を始め、障がい者に対して行ってきた制度・政策の歴史的変遷、②日本における精神保健福祉に関する現状、③精神障害の捉え方の3点を重点的に講義や調べ学習を通して学ぶ。														
授業形式	講義: O 演習: Δ 実習: 実技: ※ 主たる方法: O そ											その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他		·			目標						
	0				精神障害者福祉施策の歴史を理解する										
学習目標	0				障害者福祉の基本的枠組み(理念・視点・関係性)について理解する										
(到達目標)		0			「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解する										
	0	0			精神障害者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する										
テキスト・教材 参考図書	聶														
	回数				授業	項目·内		授業外学修指示							
	1	科目オリ	ノエン	テー	・ション	教科書の該当範囲(P.3~8)を事前に読んでおく こと									
	2	障害の捉え	え方と	障害	者福祉の理念		教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	3	障害の捉え	え方と	障害	者福祉の理念	2	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	4	制度におり	ナる「料	青神障	害者」の定義		教科書の該当領	節囲を事前に読ん							
	5	精神障害の	の「障	害特性	± J①	教科書の該当	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 んでおくこと							
	6	精神障害の	の「障	害特性	±	教科書の該当館	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 んでおくこと							
	7	精神障害	者福祉	上の歴	史的展開①	教科書の該当館	節囲を事前に読ん								
授業計画	8	精神障害	者福祉	上の歴		教科書の該当館		 んでおくこと							
	9	国際生活	機能分	計)離~	SF)と精神障害	教科書の該当館	 節囲を事前に読ん	 んでおくこと							
	<u> </u>	諸外国に	おける	排除の	の歴史とその後	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと									
						教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと									
	ļ	11 精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流 12 日本における排除の歴史と構造①									教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
		13 日本における排除の歴史と構造②									教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	<u> </u>														
	<u> </u>	14 日本の社会的障壁をめぐる課題とその支援への取り組み									教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	15 科目まとめ 数科書の該当範囲を事前に読んでおくこと														
評価方法	① 出席率(国家試験受験に基づく法定授業のため出席は10回以上であること) ② レポート(原則3回を課す、指示された日時までに指定の方法にて提出) ③受講態度 以上を下記の割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。														
					Ī	言語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
			期試				0					70%			
							0					20%			
	出席状況/受講態度								© 10%						
履修上の注意	5回以上欠課した場合は、①定期試験受験を認めない、また②単位認定(評価)を行わない														

科目名	[医学校	既詔	侖									
科目名(英)													
単位数	2単位				時間数		30時間		担当者		林田朋	子	
実施年度	2021年度				実施時期 後期				担当者実務網	圣験 组	病院にて看護師	すとして勤務	
対象学科・学年	福祉心理学科 1年												
授業概要	少子高齢化の日本の現状において、福祉系職種も適切なソーシャルワーク、ケアマネジメント、地域ケアのコーディネートによって医療職種との連携が必須となっている。多職種協働を目指すために、この授業では、 医学に関する基本的知識を身につける。												
授業形式	講	義: 6	0	演	習:	実習:		実技:		※ 主力	-る方法:○	その他:△	
	言語 情報	知的 運動技能 技能	運動 態度 技能 意欲 その他						目標				
₩33 C +=	0				人の成長·発	達と老付	上の特徴を	学(ことができる。				
学習目標 (到達目標)	0				身体の構造								
	0	代表的な疾病、障害を学び、利用者の状態を理解できる。											
	0												
テキスト・教材 参考図書		新・社会福祉士養成講座(人体の構成と機能及び疾病) 社会福祉士ナビ 医学一般 からだの事典 国試対策問題集											
	回数				授業項	頁目•内	容		授業外学修指示				
	1	科目ガー	イダン	レス	自己紹介 授								
	2	第1章ラ	イフ	ステ-	ージにおける	テキストp2~20 本読み							
	3	第2章優	建康ま	こよび	疾病の捉える	ICF	テキストp22~30 本読み						
	4	第3章身	体标	構造と		テキストp32、3	3、47 本読み						
	5	骨格系	・筋系	系 構	造と機能 骨	テキストp33、3	4,47,151~	156 本読み					
	6	血液血	血液を	を・免		テキストp46、5	6,157~162	本読み					
	7	循環器	系材	構造と	∴機能 脳血管	テキストp34~	36、48、108~	・121 本読み					
授業計画	8	循環器	系标	構造と	上機能 脳血管								
	9	消化器	系の	構造	と機能 消化	テキストp36~	38,49,145~	・150 本読み					
	10	呼吸器	系の	構造	と機能 呼吸	テキストp38、49、50、129~137 本読み							
	11	泌尿器	系の	構造	と機能 腎・減		テキストp39、50、138~144						
	12	内分泌	系の	構造	と機能 内分:	テキストp41、42, 52、122~128							
	13	神経系	の構	造と	幾能 神経疾	テキストp42、43、101~107							
	14	感覚器	系·ß	皮膚の)構造と機能	テキストp44、45、55、56、161~176							
	15	感染症	振り	り返り			テキストp92~100 229、230						
	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を出す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
評価方法					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合	
		定	期記	ţ験		0	0					90%	
		宿	題・占	出席		0	0			0		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。												